印 刷 物 積 算 書（事務用印刷物・伝票類用）

日付:　X 年　X 月　X 日（ ○ ）

担当部署	○○社　○○部	担当者	○○　○○	TEL	XX-XXXX-XXXX
件名	単式帳票（100枚綴り、両面）	規格・ﾍﾟｰｼﾞ数	A4判　100枚綴り	数量	100 冊

項目	構成	種類	規格等	単価	数量	数量	数量	金額	参照頁
B.DTPパーツ作成									
1 文字	裏面	ﾃﾞｰﾀ処理	ﾍﾟﾗ物	200 円			＝	200 円	P106
2 図版	表面	ﾃﾞｰﾀ処理	ﾛｺﾞ	200 円 ×	1 点		＝	200 円	P108
							DTPパーツ作成　計	400 円	
C.DTPメイクアップ									
1 ﾒｲｸｱｯﾌﾟ	表面	帳票	A4 難易度C	3,800 円 ×	1 版		＝	3,800 円	P115
	裏面	文字主体	A4 難易度B ﾓﾉｸﾛ	1,150 円 ×	1 版		＝	1,150 円	P114
							DTPメイクアップ　計	4,950 円	
D.文字デザイン校正紙									
1 校正紙	両面	ﾓﾉｸﾛ	A4	30 円 ×	2 ﾍﾟｰｼﾞ ×	1 部 ×	2 回 ＝	120 円	P137
							文字デザイン校正紙　計	120 円	
E.刷版									
1 CTP版	両面	面付	A4×4面付	100 円 ×	4 面 ×	2 版	＝	800 円	P149
	両面	出力	A2	2,200 円 ×	2 版 ×	1 色	＝	4,400 円	P149
							刷版　計	4,400 円	
F.印刷									
1 枚葉	両面	（通し単価の場合）	A2　2,500 通し	1.66 円 ×	2 版 ×	1 色 ×	2,500 通 ＝	8,300 円	P156
							印刷　計	8,300 円	
G.製本加工									
1 単票（天のり）			A4 100枚綴り 4面付	※1　46 円 ×	100 冊		＝	4,600 円	P182
2 切り取りﾐｼﾝ（ｼﾞｬﾝﾋﾟﾝｸﾞﾐｼﾝは別途）		（ｾｯﾄ料）	A2 10本	※2 9,750 円			＝	9,750 円	
		（通し料）	A2 10本 25,000通し	※2　2.6 円 ×	25,000 通		＝	65,000 円	
							製本加工　計	79,350 円	
H.用紙価格									
1 上質紙	（数量）	正味数量	A4 100枚綴り	1冊あたりの枚数 100 枚 ×	製作数量 100 冊 ÷	全判から取れる枚数 8 枚 ＝	正味数量 1,250 枚		P194
		印刷予備紙（予備紙率の場合）	枚葉　2,500 通し 計 2 色 （ 1/1 ）	印刷予備紙率 6.85 % ×		正味数量 1,250 枚 ＝	印刷予備紙 86 枚		P196
		製本予備紙	単票、付加加工	製本予備紙率 ※3 1.80 % ×		正味数量 1,250 枚 ＝	製本予備紙 23 枚		P197
							用紙数量　計	1,359 枚	
	（金額）	kg単価	A 判　35.0 kg	※4　197 円 ×	35.0 kg ÷	1,000 枚 ×	1,359 枚 ＝	9,370 円	P200
		白紙裁ち	2 切　500 枚/包	350 円 ×	3 包		＝	1,050 円	P195
							用紙金額　計	10,420 円	
							用紙価格　計	10,420 円	
＜合計金額＞									
1 加工高（各工程の合計）								107,940 円	P206
2 I.諸経費	（諸経費率×加工高）	加工高　15万円まで		諸経費率 15 % ×	加工高 107,940 円		＝	16,191 円	P206
							合計（加工高＋諸経費　※消費税別）	124,131 円	

・参照頁は「積算資料 印刷料金 2024年版」の掲載ページ。単価は東京を採用。

・※は割増等、「積算資料 印刷料金 2024年版」の掲載値に何らかの処理をしたことを示す。処理内容は『解説』を参照。

解　説

【B.DTPパーツ作成】

・ 裏面・文字について、デジタル入稿のため、データ処理を適用。

・ 表面・ロゴについて、デジタル入稿のため、データ処理を適用。

【C.DTPメイクアップ】

・ 帳票について、PDF/Xで入稿のため、メイクアップデータチェックを適用。

【D.文字デザイン校正紙】

・ 1回あたりの出力枚数は2枚（表・裏）のため「1～10枚」の単価を適用。

【E.刷版】

・ CTP版の面付について、A4×4面付（多面付）。版数は、表面1版・裏面1版で計2版。

・ CTP版出力について、規格は面付後規格A2（半裁）。版数は2版。色数は1色。

【F.印刷】

・ 印刷通し数の算出は、「製作数量÷刷版での多面付数」に。
印刷通し数について、100枚綴り×100冊÷4面付＝2,500通し。
規格、版数、色数は刷版と同じ。

【G.製本・加工】

・ 単票（天のり）について、ミシン入り作業のため20％割増（※1）。

・ 切取りミシンについて、刷り本への加工のため、規格、通し数は印刷と同じ。
ミシン本数は、刷り本が4面付のため、下記より計10本。
縦ミシン（断続・ジャンピングミシン）＝2本×4面付＝8本
横ミシン（通し）＝1本×4面付÷2面通し＝2本
ジャンピングミシンは「積算資料 印刷料金 2023年版」に未掲載（※2）。

【H.用紙】

・ 製本予備紙率は、単票予備紙率＋付加加工（切取りミシン）の予備紙率（※3）。

・ 用紙総量が1連（1,000枚）以上10連（10,000枚）未満のため、掲載価格イを適用。
A判35kg＝四六判55kgのため、規格連量外として5円加算（※4）。

・ 白紙裁ちは、印刷規格A2（半裁）のため2切を適用。
包み数の算出は、「用紙数量÷1包の入数」。